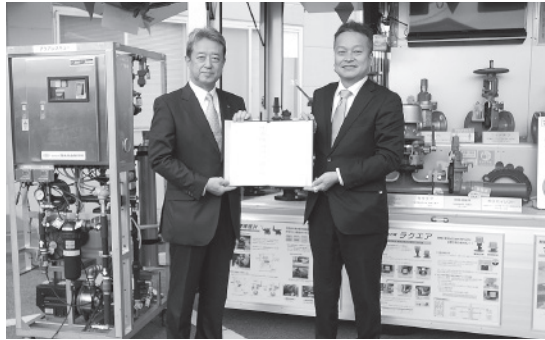


清水合金と災害協定締結

彦根市 浄水装置の確保円滑に

彦根市は8日、清水合金製作所と「災害時における浄水装置による応急給水の協力に関する協定」の調印式を行い、協定を締結した。清水合金製作所本社で開かれた調印式では、和田裕行・彦根市長と小田仁志・同社社長が協定書を取り交わした。水道施設の被災に伴う避難所の断水や原水の水质悪化を想定して迅速に応急給水活動ができるよう、可搬式浄水処理装置「アクアレスキュー」の提供を円滑に受け入れられる体制を構築するのが目的。

和田市長は今回の協定締結の意義について「風水害が年々激甚化しているなかにあつて、本市の水道も大きく被災する可能性を想定しなければならぬ。今回の協定によ



協定書を手にする和田市市長(左)と小田社長



調印式後は本社工場を視察

り、市民はより安心な生活を確認できる。市民を代表して御礼申し上げた。小田社長は「約50世

帯分の生活用水を確保できる浄水場として機能する。災害時の応急給水だけでなく、小規模集落向けの常設型もラインアップしている」などと紹介。「当社はこれまで被災地の協力要請を受けて現場に駆けつけ、生

活用水の確保に積極的に取り組んできた。住民の皆さんの役に立ち、私どもも社会貢献を行う誇りを感じている」とし、その上で「地元の彦根市さんと協定を結び、協力できることを嬉しく思う。

緊急時には真っ先に駆けつけ、市民生活に大切な水を確保したい」と思いを語った。

調印式後は和田市長や橋本公志・危機管理監、廣田進彦・上下水道部長らが本社工場を視察。堤博之・同社取締役生産本部長の案内でバルブや水処理装置の製造現場を見て回った。